

2月2日（月曜日）

校長室会食ですが、2組と1組が終わり、今日は大空学級の2名と会食しました。授業が12時半に終わりましたが、12時40分にはすでに校長室に来ていました。「なんだか緊張するなあ。」とつぶやく子供。20分間会食をしていて思ったことは、二人はとても仲がよくてふだんからいろいろな話をしていることです。「小学校を卒業したくないなあ。卒業式の時に、泣いちゃうかも…。」そう言われて、私までグッときました。残された日々を大切にしましょう。学校長



2月3日（火曜日）

今日は節分です。1年生が5校時に「じぶんのおにをおい出そう。」というめあてで、鬼のお面の中に追い出したい自分の鬼をかき出しました。色塗りを行い、担任がゴムをつけてお面は完成です。「片づけられない鬼」や「おこりんぼう鬼」など、様々な鬼を退治しようとしていました。「鬼は外、福は内」のかけ声で豆をまきました。「一つだけ食べてもいいですよ。」の担任の声で、一粒だけ口にしました。帰宅したら歳の数だけ豆を食べてくださいいね。学校長



2月4日（水曜日）

3校時に体育館で2年生が体育授業をしていました。運動場はたっぴりの日差しがありほとんど風がないので暖かさを感じましたが、体育館内はとても冷え込んでいます。それでも子供たちは元気いっぱい体を動かし、協力しながら跳び箱の準備をしていました。半円のように跳び箱が並べられ、教師が円の中心にいれば全体が見渡せるような場の工夫が見られました。跳び箱の高さは1~4段になっており、ローテーションしながらいろいろな場で跳び箱遊びをしていました。「手のつき方がとても大切です。」と担任に言われ、手のつき方を意識して跳び始めました。あまりの寒さのため体育館を出てしまいましたが、帰ってきた子供たちは笑顔いっぱいでした。学校長



2月5日（木曜日）

毎週木曜日の朝は「チャレンジタイム」となっています。8時半までには担任が教室に入り、わずか10分間ですが全体や個への学習指導を行っています。高学年は「よむYOMUワークシート」に取り組んでいます。読解力をつけるために新聞記事を読み、3つの設問に回答します。その様子を見ていましたが、短時間で長文を読むことに慣れていないために、かなり難しく感じた子供が多かったようです。しかし、慌てることはありません。コツコツと経験を積み重ねることで、必ずできるようになってきます。粘り強く読み切る力も育ちます。学校長



2月6日（金曜日）

新入学児童保護者説明会がありました。38名の新入学児童を予定しています。校長あいさつやPTAについての説明、入学までの準備等、長い時間話をしました。保護者の皆さんは話している人の顔を見ながら、またうなずきながら聴いてくださいました。説明会后に教職員の間で話したことは、「来年度入学してくる子供たちも、しっかりしていそうだね。」ということです。入学を楽しみにしています。学校長



2月9日（月曜日）

雪の影響で、2時間遅れの登校になりました。そして3校時は1年生が楽しみにしていた「むかしあそび」をしました。地域の敬老会の方々10名が、ボランティアとして子供たちと一緒に遊んでいただきました。コマ回しやけん玉、紙飛行機、お手玉、あやとり、竹とんぼを3教室を使って、ローテーションしました。子供たちは楽しそうでしたが、ボランティアさんも同じくらい楽しんでいただきました。そのあと校長室で茶菓子をお出ししましたが、「子供たちから元気をもらいました。」「あやとりが上手な子供がいて、話を聞いたら幼稚園でやっていたそうです。」「10年長生きできます。」などの感想をいただきました。また来年、よろしく願いいたします。ありがとうございました。学校長



2月10日（火曜日）

学年朝会がありました。今日は4年生が集まっているところに行ってみると、生徒指導主任が話をしています。「5年生になる準備を、今のうちからしっかりとしておきましょう。皆さんのことをとても期待しています。それとともに、高学年としての責任も出てきます。学校のルールは守れていますか？」などなど。担任からだけでなく、時には違う教員からの話はとても子供たちの心に響きます。話は変わりますが、欠席者が多くなったクラスが2つあり、今週いっぱい学級閉鎖をします。ゆっくり休んで、来週に元気な姿を見せてください。学校長



2月12日（木曜日）

4年生が4校時に、教室の後ろで数人が集まって何やら作業をしています。課題が終わった数名が「文字」を作っています。よく見てみると「先」という字のようです。4年生に何を作っているのかを聞いたところ、6年生を送る会のスローガンとのことでした。どんなスローガンなのかを聞きましたが、まだ教えてもらっていないそうです。私が担当者に聞くと、「今日児童会だよりを出す予定でしたが、閉鎖中のクラスの子供が原稿を持っています。」とのことでした。皆さんにお知らせしましょう。「憧れの先輩、未来への一歩」です。学校長



2月13日（金曜日）

20分休みの頃から太陽が顔を出し始め、暖かくなってきました。運動場では2年生が、体育の授業でなわとびをしています。準備運動の後に、時間跳びにチャレンジです。タブレットを使って担任が秒数を伝えます。すぐに引っかけってしまった子供もいますが、最長で2分5秒まで跳べた子供がいました。なわとびはとても手軽でにできる運動で、持久力や調整力も身につきます。今度の土日で、ご家族で楽しんでみてはいかがでしょうか？学校長



2月16日（月曜日）

学級閉鎖をしていた2学級ですが、今日は欠席者が少なくなつて安心しました。給食の時間に子供たちに「学級閉鎖中は、どんな昼ご飯を食べていたのですか？」と聞くと、とても元気な声で「カップラーメン！」という声がいろいろな席から聞こえてきました。中には「食欲がなくて、ほとんど食べていません。」と答えた子供もいました。久しぶりの給食に喜んでいる子供たち、学級数は14ありますが、どのクラスもほとんど完食してくれます。たくさん食べて大きくなろう！学校長



2月17日（火曜日）

音楽朝会がありました。今月の歌「花は咲く」を全員で合唱します。この曲は東日本大震災後に、日本中の復興を願って作られました。失われたものの悲しみと、それでもいつかは花は咲くという未来への希望を伝える歌詞になっています。あの震災から15年が経とうとしています。私は今でもこの曲を聴くと、すべてを押し流してしまった映像がよみがえってきます。胸が苦しくなるのですが、震災を知らない子供たちが元気よく歌ってくれることで平和な日々が続くことをいつも願っています。学校長



2月18日（水曜日）

2校時に体育館で、5年生が「命の授業」を受けました。講師は、学校のすぐ近くにある入間看護専門学校の助産師さんです。「自分の誕生日に生まれ、今ここにいることは当たり前前のように、当たり前ではないことを知ってください。」このような話から始まりました。赤ちゃんの産声を聞かせてもらったり、出産の様子をDVDで視聴したりしました。特に赤ちゃんが生まれてくるシーンでは、子供たちが真剣になってその様子を観ていたことが印象的でした。はるか昔から人類は出産を繰り返し、命をつないできました。その命を大切に、自分の命も相手の命も…。とても印象深いお話でした。真剣に聴いていた5年生の子供たちのことを、ほめていただきありがとうございました。学校長



2月19日（木曜日）

2校時に初任者の「学級会」の授業研究がありました。議題は「お楽しみ会を開こう」で、「クラス全員で遊ぶ機会が少ないので、最後にみんなで遊んで思い出を作りたい。」が提案理由です。遊ぶのは「中」と「外」でルールがわかりやすく、みんなが楽しく遊べるものという条件があります。話し合いが始まるといろいろな意見が出てきます。賛成意見や心配意見、反対意見など様々です。多くの遊びから一つに絞る難しさを感じましたが、子供たちは一生懸命頭を働かせどんな遊びならみんなが楽しめるのかを考えていました。学校長



2月20日（金曜日）

3校時にゆりかご保育園と二本木保育所の年長さんと、狭山小の1年生との「交流会」がありました。時間より前に来てくれたので運動場で遊んでもらった後、教室に入りました。あいさつのあと「にじ」という曲を歌い、自己紹介をしました。机の引き出しから教科書や筆箱を見せる1年生に、うんうんとうなずきながら答える年長さん。ランドセルを背負わせて体育館に移動し、まねっこゲームやじゃんけん列車をして楽しみました。1年生は年長さんに対して思いやりを持って接し、親切にそして丁寧に優しく関わることができていました。立派な2年生なることを確信しました。年長さんたち、ありがとう。学校長



2月24日（火曜日）

講話朝会がありました。ミラノコルティナ冬季五輪が終わり、私が最も印象深かった話「諦めないで本当によかった。」という話をしました。りくりゅうペアの第5位からの大逆転で、金メダルを獲得した話です。ショートプログラムでミスをして心が折れたにもかかわらず、翌日のフリーでは圧巻の演技を披露したペア。木原選手が演技後のインタビューで話したこの言葉こそ、子供たちに伝えるべき言葉だと思いました。あきらめてしまっただけでは、そこから先はありません。うまくいかないことや失敗ばかりでも、決してあきらめないことを朝から熱く語りました。学校長



2月25日（水曜日）

久しぶりにしっかりとした雨が降っています。花壇の花たちも喜んでるように見えます。20分休みに体育館で、来年度からの通学班の新班長が集合しました。担当の教員から班長として班員の「手本」になるように、通学帽子をかぶることや班長旗を使うこと、あいさつやペコリをすること等の話がありました。また新1年生に「つうがくはんのおしらせ」を作って、家に届けることを約束しました。ポストインではなく、手渡しをして顔を覚えてもらうよう指示がありました。確実に日々は過ぎていきます。やるべきことをやってほしいです。学校長



2月26日（木曜日）

チャレンジタイム（朝の打ち合わせがなく、担任が8時半には教室にいられる時間）があり、高学年が「よむ YOMU ワークシート」に取り組みました。「よむ YOMU ワークシート」とは、読解力向上を目指し、読売新聞の記事を基に作成した補助教材です。時間になるとプリントがすぐに配付され、問題を解き始めます。約10分後に答え合わせをして、それを綴っていきます。6年生に「全問正解だった人はいますか？」と聞くと、5～6名が挙手しました。さらに「時間はどうでしたか？」と聞くと「ちょうどよかったです。」という声がありました。短時間ではありますが、コツコツと継続することで必ず力は伸びていきます。諦めてしまっただけではおしまいです。粘り強く最後まで！学校長



2月27日（金曜日）

1校時に6年生が、「狭山小への感謝の気持ちを…」という内容で話し合いをしていました。毎年3月に、6年生が奉仕作業をしてくれます。その内容を子供たちが考え、いろいろな意見を出しました。遊具をきれいにする、普段でできないところの掃除をする、使った教室をすべてきれいにする、などなど。6年間お世話になった教室や運動場、体育館、廊下、階段、トイレ、昇降口などをきれいにすることは、感謝の気持ちを行動に表してくれることとなります。来週からは3月です。いよいよ卒業までのカウントダウン、3月2日から16日間で狭山小学校での学校生活のゴールを迎えます。学校長

